



三条北ロータリークラブ週報

友達になろう

BE A FRIEND

国際ロータリー会長 ビル・ハントレー 第2560地区ガバナー 大島精次

例会日
1994. 10 . 25
累計 No 387
当年 No 16

例会日／火曜日 PM12:30~1:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111
事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160
FAX ☎33-8972

会長／大野新吉
幹事／米山忠俊
SAA／馬場直次郎

行 事： 社会奉仕委員会主管
外部卓話「中途失明者の増える中で」朗読奉仕つわぶきの会 会長 捧 典様
出 席： 本日の出席 52名中34名
先週の出席率 52名中46名 88.46% (前年同期 90.19%)
先週のメークアップ： 10月17日 京都西RCへ 清岡 茂さん
19日 三条RCへ 大竹保男さん 中條耕二さん
20日 見附RCへ 清岡 茂さん
24日 三条南RCへ 羽賀一夫さん 長谷川恵慈さん 堀川正幸さん
石月雅司さん 加藤 実さん 山口龍二さん
吉川吉彦さん 坂本勝司さん 高橋彰雄さん

ビジター： 三木RCより 片山眞人さん
浜松南RCより 渡辺虎雄さん
三条RCより 鈴木宗資さん

ゲスト： 朗読奉仕つわぶきの会 会長 捧 典様

会長挨拶： 大野新吉

前例会の東南アジアボランティア体験談やテレビ・新聞のニュースで知る各ボランティア活動、頭の下がる思いがします。

私達の住む日本は春夏秋冬の四季に恵まれ、その季の喜びを感じ取りながら豊かな暮らしの為には世界各国の資源を入手して治安面、経済面に大いなる恩恵を受けています。

一方、政治は三流と他国より非難されても、現実の物の豊かさから来る治安の安定、生活の安定、快適感などは世界一流だと思います。体験談から思い知らされる事はこの夏の猛暑が40日位続いただけで日本社会はテレビ・新聞etc報道のスクープ騒動合戦になりましたが、東南アジアではあたりまえの事でいかにこの地域の人々は労働意欲の減退にさいなまれているかわかります。そ

しないで下さい) 席に着かせる時は盲人の手を椅子の背の部分に置いてあげて下さい。

。金銭を渡す時は紙幣や硬貨の単位を言いながら一つずつ渡す。

盲人にサービスする時は、細かい世話をやかず、軽く声で知らせて下さい。(世話のやき過ぎは盲人の品位を傷つけるばかりでなく、自主的な動きをさまたげ劣等感を深め、依頼心を助長することになります)

映画、芝居、テレビ、書画など盲人に縁が無いものと思い込まないで下さい。録音テープの料理や、編物、旅行記はとても人気があります。特に盲人協会の皆さんは常に努力とトレーニングを致します、いろんな事にチャレンジされています。

こんなちょっとした知識を持って温かい心で接すれば今日から盲人はただ眼の不自由な一人の社会人だと理解し応待出来、人間的なホットな関係が生まれます。

会員増強のしおり

・地元地域社会にいるロータリアン候補者をすべて知っていると思ってはなりません。すべてのロータリアンは空席の職業分類を適格者で埋める責任があることを認識すべきであります。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

11月2日例会： 市内3RC合同例

11月8日例会： クラブフォーラム 地区大会報告会

れに共なっての経済力の困窮、政治・治安の不安定、生活レベルの貧困 etc より医療面・保健衛生面の不備による国民健康管理の低下、まさに私達はこの様な人々の犠牲の上に成り立っている様に思います。ですので私達は出来る限りの各方面へのボランティアの協力に参加しなければならないと思います。本日はまさにそれを実践されている朗読奉仕「つわぶきの会」の挙行^{ささげのり}様より、三条市内の身体障害者に対してのボランティア活動、特に中途失明者が最近増加している現状 etc をお話しして致します。

幹事報告：米山幹事

◇ 伊勢崎中央RCより認証状伝達式参加礼状を頂戴いたしました。

◇ 例会変更

吉田RC・「会場変更」

日時 平成6年11月4日（金）

会場 ちぐさ

・「時間変更」

日時 平成6年11月11日（金）17:00～

会場 産業会館

・「ガバナー公式訪問」

日時 平成6年11月18日（金）

会場 産業会館

見附RC・「ガバナー公式訪問」

日時 平成6年11月10日（木）

燕RC ・「例会場変更」

日時 平成6年11月17日（木）

会場 富山県庄川温泉

※いづれも事務局にて記帳の用意があります。

◇ 東京練馬中央RCより認証状伝達式のご案内

日時 平成7年1月24日（火）

会場 国立劇場

委員会報告：

社会奉仕委員会 芦田委員長

「越後三条良寛のみち」イベント寄付については会員より49,000円、スマイルBOXより51,000円の拠出で100,000円の寄付をさせていただきました。馬場会長より会員の皆様によろしくお伝え下さいとの事でした。

視覚障害者の実情

視覚の不自由な人は目の健常な家族と同居している場合はよいが、そうでないと郵便物が来ても識別出来ない。近所の人に見てもらう人と、個人的な事を知られたくない為、大体の見当で判断し大事な事を見過してしまう人があるそうです。点字ならようかというと、中途失明者のほとんどが点字教育を受けていない、判読出来ないというのが実態です。今、労災事故、交通事故、その上、糖尿病による白内症や網膜症と高齢化が進む今後は更に中途失明者が増える状況にあります。更に問題なのは障害のあることを知られたくない為、盲人協会外の視覚障害者についてはテープの利用希望者がいるかどうかの調査さえ出来ないというのが多くの市での実情です。

つわぶき会でも一人でも多い利用者をと願いまして、九月の市政によりテープの貸出し希望者をつのる記事を載せてもらいましたし、今月初め三条新聞に私達の活動の一部“諸橋轍次博士の生涯”の録音テープ作りの記事の中にも利用を呼びかけています。今、月2回の勉強会に朗読の先生の指導を受け、より正確で聞き易いテープ製作をしていますが同時にもう一つ、視覚障害者の実態を広く地域の方達に知っていただくパイプ役をすることも始めました。今回北ロータリーさんに三条盲協にダビングの機器の新品購入のご援助をお願い致しますのもその一端です。

京都のタクシーの大森運転士の話 私達と同じ年代でしょうか。ラジオ歌謡の懐しい音楽に乗せて。

自作の詩 2題

・100人の若い恋人達へ

・ほんのひと時の出逢い

青春時代流行した“水色のワルツ”の曲が旅に余韻を与えてくれました。このテープを是非盲人協会に寄贈されてはとすすめましたら、僕のテープがそんな所で役立つんですか、そんなこと言われたの初めてです。ちょっと恥しいけど盲人の方にも聞いていただけたら嬉しいですね。仕事にも張合いが出ます。

こんな私達の発信がどれ程の力になるのでしょうか。本当にささやかな活動ですが、どうぞ皆さんからもご理解下さって、お力添えをお願い致します。今、日本には身体や精神に障害を持つ人が440万人居られます。人口100人に3人の割合でしょうか。目の環境は悪くなる一方で視力も年々低下していく成人病年齢の私達はいつ糖尿病にからんともかぎりませんし、健常者である私達の責任に於いて積極的に活動をして参りたいと思います。

- ・あなたから先に声をかけて下さい。メクラとかアンマサンなどと言わないで下さい（盲人、失明者、視覚障害者）
- ・挨拶を交す時、握手をして下さい。又、場所を聞かれたら右、左、前、後とか何メートルの所にあると言って下さい。そして気の毒がったり、憐れみの態度をとらないで下さい。
- ・道路などで誘導する時はあなたの右肘を軽く握らせ同一歩調で歩いて下さい。（後から押したり